





球磨焼酎贈呈式

5月23日、球磨焼酎酒造組合様に議長室を訪問いただき、球磨焼酎全27蔵元の代表銘柄27本を贈呈いただきました。組合からは、「災害やコロナ禍においても多くの方の応援や県からの手厚い支援をいただきここまでこれた。引き続き球磨焼酎の魅力を発信していきたい。」との言葉をいただきました。私も、自称、球磨焼酎“筆頭”大使として明るく楽しくPRしてまいります。



6月定例県議会

6月3日に開会した6月定例県議会は、21日に、予算関係4件、条例関係11件、意見書4件など、計27の議案が可決・同意・承認され、閉会しました。閉会後の議長記者会見は、より活発な質疑応答となることを目指し、議長室に記者の皆様を招いて行いました。6月定例会の振り返りをはじめ、新型コロナ対策、災害からの復興、県議会議員補欠選挙などの質問に答えたほか、議長就任以降取り組んできたことについても説明しました。



福島県、宮城県視察研修

5月16日～18日、東北で視察研修を行いました。福島県では、大規模災害で被災した小規模自治体の対応及び国県の関わりについて、そして、移住希望者に選ばれる自治体について意見交換や視察研修を行った他、双葉町では、東日本大震災、原子力災害について学びました。宮城県では、女川町を訪問し、東日本大震災後の公民連携によるまちづくり、地域コミュニティの形成、移住・定住を進める上での課題等について、意見交換会や視察研修を行いました。また、東北復興のシンボル施設として、仙台市若林区の集団移転跡地にオープンした施設を訪問し、開業に至った経緯や施設の概要について説明を受けました。次に利府町を訪問し、図書館を核とした文化複合施設、新たな観光資源発掘について説明を受けたほか、震災からの復興事業など意見交換を行いました。最後に多賀城市を訪問し、東日本大震災後の人口の推移、津波復興拠点整備事業などの説明を受けた後、進出企業を視察させていただき、SDGsに繋がる新素材を使った事業には深く興味を持ちました。



要望活動

5月26日～27日、自民党本部、総務省、国土交通省、経済産業省をそれぞれ訪問し、令和2年7月豪雨、新型コロナウイルス対策、半導体関連産業等に関する提案・要望を行いました。私からは、被災地選出の議員として、被災自治体への人的支援やなりわい再建支援補助金等について要望を行った他、TSMC 関連事業についても意見を交わしました。



若手県職員との交流会

6月23日、普段関わる機会が少ない若手県職員を議長室に招いて、交流を深めました。昼休みの短い時間でしたが、担当業務、趣味、学生時代の部活といった話題のほか、自分が参加者と同世代の頃、政治家の道を歩み始めた話しなどで盛り上がりました。最後に、若手県職員の皆さんに期待することを述べて会を終了しました。

活動報告



肥薩線復旧を願うアピール集会

3月20日、人吉市スポーツパレスで開催された、「肥薩線復旧を願うアピール集会」に参加しました。この集会は、令和2年7月豪雨災害により甚大な被害を受けた肥薩線の復旧を願う地域の思いを集結し、各方面に伝えるために開催されたものです。地元県議として、肥薩線復旧の実現に向けたガンバロー三唱の音頭を取り、会場を盛り上げました。

青井被災市街地復興土地区画整理事業の施行に関する協定締結式

3月27日、人吉市役所で開催された、県及び人吉市による青井被災市街地復興土地区画整理事業の施行に関する協定締結式に出席しました。この協定は、令和2年7月豪雨で被災された方の一日も早い生活再建を実現するためのもので、私からは、青井地区のまちづくりを行う絶好のチャンスであり、県執行部とも協力して進めていくと述べました。



金子総務大臣と人吉球磨観光復興会議との意見交換会

4月16日、肥後銀行人吉支店で開催された、人吉球磨観光復興会議と金子総務大臣との意見交換会に出席しました。会では、まちづくり、人材育成及び地域の活性化について意見が交わされました。私からは、関係者が一丸となり復興に取り組むことの必要性について述べました。出席者からは、会議の場に若者が参加できる仕組みがほしいとの要望をいただきました。



人吉市「ライティング防災アラートシステム」点灯式

4月16日、HASSENBAにおいて人吉市「ライティング防災アラートシステム」点灯式が開催されました。令和2年7月豪雨の際に、防災行政無線が聞こえなかったという意見を受け、色彩の変化で視覚的にアプローチし、逃げ遅れを防ぐという目的で整備されたものです。なお、平時は観光コンテンツとしても活用されます。私からは、「一人一人の汗の結晶が形となり、本日の点灯式を迎えることができた。橋が赤く光った時に誰一人命を落とさなくて良かったと思った時がゴールだと思う。」と述べました。



令和2年7月豪雨被災地における地域支え合い支援

5月20日、人吉市、球磨村、八代市を訪問し、被災者の見守りや地域コミュニティ形成等を支援する「地域支えあいセンター」の相談員の皆様と意見交換を行いました。相談員の皆様からは、活動開始当初の苦労された経験談や課題などを聞かせていただき、「最前線で被災者に寄り添った支援を行う相談員の皆様の活動を、県と市町村はしっかり支えていく」と述べました。

